2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	診療画像検査学演習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次	学期及び曜時限	前期	教室名	合同校舎エックス線実習室
担 当 教 員	安藤英次、山本由紀	実務経験とその関連資格	奈良県立医科大学附属病院において40年勤務においてX線撮影業務に従事していた.(安藤英次)		

《授業科目における学習内容》

診療価値の高い画像を提供するX線撮影をするため、撮影部位ごとのポジショニングを理解する。
患者対応として検査説明から入室から退室まで患者介助などを取得する。
模擬人体を用いてX線撮影法を実習する。

《成績評価の方法と基準》

出席評価、受講態度(私語厳禁)、事前学習の取組状況、課題レポート内容などを総合的に評価する。
①素点(課題レポート)　60%
②出席評価点　20%
③平常点(授業へ取組む姿勢)　20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

参考図書 「X線撮影技術学」 編:安藤英次
「図解上肢撮影法」 著:安藤英次　「図解下肢撮影法」 著:安藤英次　「図解脊椎撮影法」 著:安藤英次
「図解骨盤股関節撮影法」 著:安藤英次

《授業外における学習方法》

実習する撮影部位を使用して当日は実技を行うため、前日までに手順を十分に理解しておくこと。
また、実習時間内に作成出来なかったレポートは期日までに提出出来るよう、作成を行う。

《履修に当たっての留意点》

撮影体位や肢位から臨床画像へ有用性をの評価へ導く。
学内実習は病院実習に向けての演習も兼ねているため、注意事項を熟読し、規則に準ずること。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	X線撮影装置と撮影台の基本的な構造と特徴を理解する。 撮影体位や肢位を理解する。 X線撮影台への安全な移動法を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	X線撮影装置と撮影台の装置の取り扱い。 患者にとって安全で再現性のある撮影肢位を理解する。 患者の移動では介護技術方法を活用し安全な移動法を理解する。		
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	頭部のX線撮影における基本的な体位や基準線を理解する。 頭部のX線撮影におけるポジショニングを理解する。。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	X線撮影の基準線・基準面・基準点や解剖学的断面 正面撮影と側面撮影の撮影体位		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	胸部のX線撮影の撮影法や基準線を理解する。 胸部のX線撮影のポジショニングを理解する。□	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・胸部の撮影基準線、X線中心点や入射角 ・撮影体位(臥位、座位、立位、側臥位) ・撮影肢位(上肢の下垂位と挙上位)″□		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	腹部のX線撮影における基本的な体位や基準線を理解する。 腹部のX線撮影のポジショニングを理解する。□	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・腹部の撮影基準線、X線中心点や入射角		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	胸・腹部のX線撮影における投影されるX線画像を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜胸部・腹部レポート作成＞ ・X線画像によるX線解剖図作成 ・3次元的投影図を作成		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	肩関節（上肢）X線撮影の撮影法や撮影基準線を理解する。 肩関節（上肢）X線撮影のポジショニングを理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・肩の撮影基準線、X線中心点や入射角 ・撮影体位、撮影肢位（回旋位、挙上位）		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	肘関節(上肢)X線撮影の撮影法や撮影基準線を理解する。 肘関節(上肢)X線撮影のポジショニングを理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・関節の撮影基準線、X線中心点や入射角 ・撮影体位、撮影肢位（回旋位、屈曲位）		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	肩・肘関節のX線撮影における投影されるX線画像を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜肩・肘関節レポート作成＞ ・X線画像によるX線解剖図作成 ・3次元的投影図を作成		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	頸椎のX線撮影における基本的な体位や基準線を理解する。 頸椎のX線撮影のポジショニングを理解する。□	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・頸椎の撮影基準線、X線中心点や入射角		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	腰椎のX線撮影における基本的な体位や基準線を理解する。 腰椎のX線撮影のポジショニングを理解する。□	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・腰椎の撮影基準線、X線中心点や入射角		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	頸椎・腰椎のX線撮影における投影されるX線画像を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜頸椎・腰椎レポート作成＞ ・X線画像によるX線解剖図作成 ・3次元的投影図を作成		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	全下肢のX線撮影における基本的な体位や基準線を理解する。　　全下肢のX線撮影のポジショニングを理解する。□	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・腰椎の撮影基準線、X線中心点や入射角		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	全脊・全下肢のX線撮影における基本的な体位や基準線を理解する。 全脊・全下肢のX線撮影のポジショニングを理解する。□	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・全脊椎・全下肢の撮影基準線、X線中心点や入射角		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	全脊椎・下肢のX線撮影における投影されるX線画像を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜全脊椎・全下肢レポート作成＞ ・X線画像によるX線解剖図作成 ・3次元的投影図を作成		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	骨盤・股関節のX線撮影における基本的な体位や基準線を理解する。 骨盤・股関節のX線撮影のポジショニングを理解する。□	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・骨盤・股関節の撮影基準線、X線中心点や入射角		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	診療画像検査学演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	合同校舎エックス線実習室
担 当 教 員	安藤英次、山本由紀	実務経験とその関連資格	奈良県立医科大学附属病院において40年勤務においてX線撮影業務に従事していた.(安藤英次)			

《授業科目における学習内容》

診療価値の高い画像を提供するX線撮影をするため、撮影部位ごとのポジショニングを理解する。
患者対応として検査説明から入室から退室まで患者介助などを取得する。
模擬人体を用いてX線撮影法を実習する。

《成績評価の方法と基準》

出席評価、受講態度(私語厳禁)、事前学習の取組状況、課題レポート内容などを総合的に評価する。
①素点(課題レポート)　60%
②出席評価点　20%
③平常点(授業へ取組む姿勢)　20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

参考図書 「X線撮影技術学」 編:安藤英次
「図解上肢撮影法」 著:安藤英次　「図解下肢撮影法」 著:安藤英次　「図解脊椎撮影法」 著:安藤英次
「図解骨盤股関節撮影法」 著:安藤英次

《授業外における学習方法》

実習する撮影部位を使用して当日は実技を行うため、前日までに手順を十分に理解しておくこと。
また、実習時間内に作成出来なかったレポートは期日までに提出出来るよう、作成を行う。

《履修に当たっての留意点》

撮影体位や肢位から臨床画像へ有用性をの評価へ導く。
学内実習は病院実習に向けての演習も兼ねているため、注意事項を熟読し、規則に準ずること。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	骨盤・股関節のX線撮影における投影されるX線画像を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜骨盤・股関節レポート作成＞ ・X線画像によるX線解剖図作成 ・3次元的投影図を作成		
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節(下肢)X線撮影の撮影法や撮影基準線を理解する。 膝関節(下肢)X線撮影のポジショニングを理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・関節の撮影基準線、X線中心点や入射角 ・撮影体位(臥位、自然立位)、撮影肢位(プラトー位、屈曲位)		
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節(下肢)X線撮影におけるX線画像を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜膝関節レポート作成＞ ・X線画像をトレースしX線解剖図作成 ・関節の3次元的投影図を作成		
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	足部・足関節(下肢)X線撮影の撮影法や撮影基準線を理解する。 足部・足関節(下肢)X線撮影のポジショニングを理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・関節の撮影基準線、X線中心点や入射角 ・撮影体位(臥位、自然立位) ・撮影肢位(Mortise AP view、足関節の中間位)		
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	足部・足関節(下肢)X線撮影におけるX線画像を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜レポート作成＞ ・X線画像をトレースしX線解剖図作成 ・関節の3次元的投影図を作成		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	足部・足関節(下肢)X線撮影の撮影法や撮影基準線を理解する。 足部・足関節(下肢)X線撮影のポジショニングを理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・関節の撮影基準線、X線中心点や入射角 ・撮影体位(臥位、自然立位) ・撮影肢位(Mortise AP view、足関節の中間位)		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	足部・足関節(下肢)X線撮影におけるX線画像を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜レポート作成＞ ・X線画像をトレースしX線解剖図作成 ・関節の3次元的投影図を作成		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	救急X線撮影におけるX線撮影法を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・救急撮影の基礎的知識 ・救急撮影の意義や必要性		